

一般健康診断実施状況

	29年度	28年度	増減
職域	30,661	31,459	△ 798
地域	5,369	5,470	△ 101
計	36,030	36,929	△ 899

平成29年度の受診状況は、899名の減少となった。特に職域では集団で実施していた幾つかの顧客が喪失したため、798名の減少となった。

平成29年度総合判定別内訳（職域）

	男	女	計
異常なし	3,728	1,334	5,062
有所見放置可	2,897	1,279	4,176
要観察	5,767	3,357	9,124
要精検	4,097	1,773	5,870
要治療	136	19	155
要継続治療	4,305	1,969	6,274
計	20,930	9,731	30,661

がん検診実施状況

	29年度	28年度	増減
胃がん（X線）	6,838	7,025	△ 187
胃がん（内視鏡）	30	—	30
肺がん・結核 （胸部X線）	36,007	26,167	9,840
大腸がん	10,909	10,961	△ 52
乳がん	737	694	43
子宮がん	564	522	42
前立腺がん	1,981	2,096	△ 115

肺がん・結核検診は、平成28年度まで地域の方々には、撮影のみであったため計上しなかったが、平成29年度より結果報告まで実施することになり、約10,400名を計上したため増加したが、地域を除けば顧客の喪失により約550名の減少だった。胃がん（X線）検診は、毎年減少傾向が続く。また、前立腺がん検診は、地域で節目年齢を対象にしているところもあり変動が大きかった。

主な特殊健康診断実施状況

	29年度	28年度	増減
じん肺健診	469	404	65
有機溶剤健診	3,165	3,152	13
鉛 健診	29	210	△ 181
電離放射線健診	311	300	11
特定化学物質等健診	3,085	3,048	37
騒音健診	156	149	7
振動健診	883	831	52
VDT健診	535	1,307	△ 772

特殊健康診断は、鉛を扱っていた顧客が喪失したため受診者数が減った。また、VDT健診では数多く実施していた顧客が独自で実施することになったため大きく減った。

尿中代謝物検査実施状況

代謝物名	溶剤・物質名	29年度	28年度	増減
馬尿酸	トルエン	818	771	47
メチル馬尿酸	キシレン	471	508	△ 37
2,5-ハキサジ オ	ルマルキサ	297	290	7
N-メチルホルムアミド	NNジ メチルホルムアミド	344	366	△ 22
総三塩化物	トリクロロエチル	31	34	△ 3
	テトラクロロエチル	0	0	0
マンデル酸	スチレン	127	125	2
	イソパレン	366	272	94

(注) 1.1.1-トリクロロエタンの実施はありません。

分布状況 (29年度)

代謝物名	分布1	分布2	分布3
馬尿酸	760	46	12
メチル馬尿酸	471	0	0
2,5-ハキサジ オ	295	2	0
N-メチルホルムアミド	341	2	1
総三塩化物	31	0	0

尿中馬尿酸検査で分布2・3が他の検査よりも多い。採尿前の酸の摂取制限等の注意を呼びかけているが守られていないのか、体質によるものなのか、あるいは、排気によるものかなど見極めが必要と思われる。

ストレスチェック検査実施状況

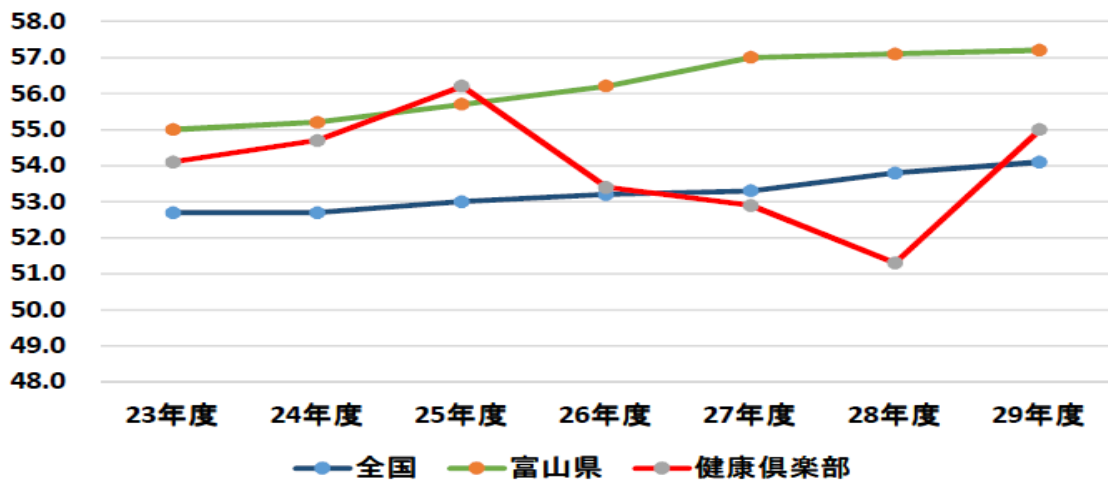
	29年度	28年度	増減
ストレスチェック	3,235	3,746	△ 511

ストレス検査も実施していた顧客の喪失等により511名減少であった。

定期健康診断項目別有所見率（％）（職域）

	北陸支部 (29年度)	北陸支部 (28年度)	富山県 (29年度)	全国調査結果 (29年度)
聴力1000Hz	2.9	3.1		3.6
聴力4000Hz	9.3	9.4		7.3
胸部X線検査	5.3	5.1		4.2
喀痰検査	0.0	0.0		1.9
血圧検査	15.2	15.0		15.7
貧血検査	9.5	9.3		7.8
肝機能検査	15.2	15.4		15.2
脂質検査	34.5	35.2		32.0
血糖検査	10.8	10.8		11.4
尿検査（糖）	3.3	3.3		2.8
尿検査（蛋白）	3.2	2.9		4.4
心電図検査	7.3	5.8		9.9
有所見の割合	55.0	51.3	57.2	54.1

年度推移



	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
全国	52.7	52.7	53.0	53.2	53.3	53.8	54.1
富山県	55.0	55.2	55.7	56.2	57.0	57.1	57.2
健康倶楽部	54.1	54.7	56.2	53.4	52.9	51.3	55.0

有所見のあった人数の割合は、近年減少していたが約4%上昇したため、全国平均よりも高くなった。項目別では、血液検査（貧血検査除く）では減少しているが、血圧・尿蛋白・貧血検査で増加した。

また、胸部X線検査及び心電図検査の判定医が数名代わり有所見率が上がったことが、有所見の割合が増加したと思われる。読影委員会等で検討し精度を上げることが必要と思われる。

平成29年度がん検診実施結果（男女別）

		性別	受診者数	要精検者数	要精検率
胃がん 検診	胃部X線検査	男性	5,110	103	2.0%
		女性	1,728	28	1.6%
		計	6,838	131	1.9%
	胃部内視鏡	男性	20	2	10.0%
		女性	10	0	0.0%
		計	30	2	6.7%
大腸がん検診 (便潜血検査)		男性	7,620	477	6.3%
		女性	3,289	197	6.0%
		計	10,909	674	6.2%
肺がん 検診	胸部X線検査 のみ (職域)	男性	17,104	354	2.1%
		女性	8,510	126	1.5%
		計	25,614	480	1.9%
	胸部X線検査 のみ (地域)	男性	3,600	44	1.2%
		女性	6,792	50	0.7%
		計	10,392	94	0.9%
子宮がん 検診	頸部 のみ	女性	564	12	2.1%
乳がん 検診	視触診及び マンモグラフィ	女性	404	36	8.9%
	視触診及び 超音波検査	女性	381	13	3.4%

平成29年度がん検診実施結果（年代・男女別）

*肺がん検診「職域」

【男】	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳	242	236	1	3	2	0.8%
20～29歳	2,859	2,766	39	31	23	0.8%
30～39歳	3,855	3,654	96	74	31	0.8%
40～49歳	4,674	4,240	224	146	64	1.4%
50～59歳	3,570	3,063	218	200	89	2.5%
60～69歳	1,529	1,206	116	118	89	5.8%
70歳以上	375	236	34	49	56	14.9%
計	17,104	15,401	728	621	354	2.1%

【女】	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳	48	45	0	3	0	0.0%
20～29歳	1,733	1,693	19	16	5	0.3%
30～39歳	1,916	1,850	25	25	16	0.8%
40～49歳	2,327	2,195	60	52	20	0.9%
50～59歳	1,586	1,393	77	74	42	2.6%
60～69歳	775	626	39	77	33	4.3%
70歳以上	125	80	9	26	10	8.0%
計	8,510	7,882	229	273	126	1.5%

*肺がん検診「地域」

【男】	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳						
20～29歳						
30～39歳						
40～49歳	162	156	2	4	0	0.0%
50～59歳	162	152	5	4	1	0.6%
60～69歳	881	791	36	46	8	0.9%
70歳以上	2,395	1,976	119	265	35	1.5%
計	3,600	3,075	162	319	44	1.2%

【女】	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳						
20～29歳						
30～39歳						
40～49歳	370	360	5	5	0	0.0%
50～59歳	553	526	7	15	5	0.9%
60～69歳	2,033	1,900	46	78	9	0.4%
70歳以上	3,836	3,364	128	308	36	0.9%
計	6,792	6,150	186	406	50	0.7%

*「地域」の胸部X線検診の対象年齢は、40歳以上なため39歳以下の実施はありません。

***胃がん検診**

【男】	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳	2	2	0	0	0	0.0%
20～29歳	45	43	0	0	2	4.4%
30～39歳	707	695	3	0	9	1.3%
40～49歳	2,033	1,974	30	2	27	1.3%
50～59歳	1,731	1,649	33	2	47	2.7%
60～69歳	531	490	21	3	17	3.2%
70歳以上	81	76	2	0	3	3.7%
計	5,130	4,929	89	7	105	2.0%

【女】	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳	0	0	0	0	0	
20～29歳	27	27	0	0	0	0.0%
30～39歳	270	259	8	1	2	0.7%
40～49歳	677	647	21	0	9	1.3%
50～59歳	526	501	17	2	6	1.1%
60～69歳	215	198	5	2	10	4.7%
70歳以上	23	19	3	0	1	4.3%
計	1,738	1,651	54	5	28	1.6%

*胃部内視鏡検査の実施数が30人と少ないためX線検査と併せた人数になっております。

***大腸がん検診**

【男】	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳	1	1				
20～29歳	157	146			11	7.0%
30～39歳	1,143	1,090			53	4.6%
40～49歳	2,862	2,725			137	4.8%
50～59歳	2,468	2,288			180	7.3%
60～69歳	841	758			83	9.9%
70歳以上	148	135			13	8.8%
計	7,620	7,143			477	6.3%

【女】	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳	0					
20～29歳	241	227			14	5.8%
30～39歳	649	611			38	5.9%
40～49歳	1,135	1,076			59	5.2%
50～59歳	827	778			49	5.9%
60～69歳	400	364			36	9.0%
70歳以上	37	36			1	2.7%
計	3,289	3,092			197	6.0%

*乳がん検診（マンモグラフィ検査）

	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳	0	0	0	0	0	
20～29歳	8	4	4	0	0	0.0%
30～39歳	45	23	17	0	5	11.1%
40～49歳	187	72	95	0	20	10.7%
50～59歳	107	42	53	2	10	9.3%
60～69歳	53	20	32	0	1	1.9%
70歳以上	4	2	2	0	0	0.0%
計	404	163	203	2	36	8.9%

*乳がん検診（超音波検査）

	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳	1	1	0	0	0	0.0%
20～29歳	33	27	5	1	0	0.0%
30～39歳	150	125	12	6	7	4.7%
40～49歳	116	90	15	7	4	3.4%
50～59歳	64	53	8	2	1	1.6%
60～69歳	15	14	0	0	1	6.7%
70歳以上	2	2	0	0	0	0.0%
計	381	312	40	16	13	3.4%

*子宮がん検診（頸部）

	受診者数	判定別人数				要精検率
		異常なし	放置可	要観察	要精検	
～19歳	0	0			0	
20～29歳	61	60			1	1.6%
30～39歳	155	151			4	2.6%
40～49歳	183	177			6	3.3%
50～59歳	110	110			0	0.0%
60～69歳	51	50			1	2.0%
70歳以上	4	4			0	0.0%
計	564	552	0	0	12	2.1%

肺がん・胃がん検診では、男女共に年齢が上がるにつれて要精検率も上がる傾向。大腸がん検診の男性では、50歳代以上が他の年代よりも要精検率が高い。女性では、50歳代までは5%台で差は余りないが60歳代で高くなる。しかし、生理の関係もあるため、採便時に特に注意をしてもらう必要があると思われる。女性検診の要精検率は乳がん検診は、30歳代～50歳代が高い傾向であり、子宮がん検診では、30歳代・40歳代が高かった。20歳代・60歳代の受診者は他の年代よりも少ないため、参考値とする。

メタボリックシンドローム判定別
「40歳～74歳」（職域）

29年度	合計	基準 該当者数	基準 該当者率	予備群 該当者数	予備群 該当者率	非該当者数	非該当者率	判定不能 者数	判定不能 者率
男	8,697	1,779	20.5%	1,531	17.6%	5,338	61.4%	49	0.6%
女	4,050	231	5.7%	220	5.4%	3,587	88.6%	12	0.3%
計	12,747	2,010	15.8%	1,751	13.7%	8,925	70.0%	61	0.5%

28年度	合計	基準 該当者数	基準 該当者率	予備群 該当者数	予備群 該当者率	非該当者数	非該当者率	判定不能 者数	判定不能 者率
男	8,999	1,832	20.4%	1,510	16.8%	5,589	62.1%	68	0.8%
女	4,190	197	4.7%	223	5.3%	3,748	89.5%	22	0.5%
計	13,189	2,029	15.4%	1,733	13.1%	9,337	70.8%	90	0.7%

メタボリックシンドローム判定別
「40歳～74歳」（地域）

29年度	合計	基準 該当者数	基準 該当者率	予備群 該当者数	予備群 該当者率	非該当者数	非該当者率	判定不能 者数	判定不能 者率
男	1,271	350	27.5%	260	20.5%	661	52.0%	0	0.0%
女	3,152	251	8.0%	181	5.7%	2,720	86.3%	0	0.0%
計	4,423	601	13.6%	441	10.0%	3,381	76.4%	0	0.0%

28年度	合計	基準 該当者数	基準 該当者率	予備群 該当者数	予備群 該当者率	非該当者数	非該当者率	判定不能 者数	判定不能 者率
男	1,249	345	27.6%	215	17.2%	689	55.2%	0	0.0%
女	3,316	255	7.7%	182	5.5%	2,879	86.8%	0	0.0%
計	4,565	600	13.1%	397	8.7%	3,568	78.2%	0	0.0%

階層化別（保健指導レベル）
「40歳～74歳」（職域）

29年度	合計	積極的支援	積極的支援率	動機付け支援	動機付け支援率	情報提供	情報提供率	判定不能者数	判定不能者率
男	8,697	1,673	19.2%	772	8.9%	6,219	71.5%	33	0.4%
女	4,050	135	3.3%	235	5.8%	3,666	90.5%	14	0.3%
計	12,747	1,808	14.2%	1,007	7.9%	9,885	77.5%	47	0.4%

28年度	合計	積極的支援	積極的支援率	動機付け支援	動機付け支援率	情報提供	情報提供率	判定不能者数	判定不能者率
男	8,999	1,703	18.9%	793	8.8%	6,453	71.7%	50	0.6%
女	4,220	134	3.2%	237	5.6%	3,799	90.0%	50	1.2%
計	13,219	1,837	13.9%	1,030	7.8%	10,252	77.6%	100	0.8%

階層化別（保健指導レベル）
「40歳～74歳」（地域）

29年度	合計	積極的支援	積極的支援率	動機付け支援	動機付け支援率	情報提供	情報提供率	判定不能者数	判定不能者率
男	1,271	137	10.8%	189	14.9%	945	74.4%	0	0.0%
女	3,152	92	2.9%	190	6.0%	2,870	91.1%	0	0.0%
計	4,423	229	5.2%	379	8.6%	3,815	86.3%	0	0.0%

28年度	合計	積極的支援	積極的支援率	動機付け支援	動機付け支援率	情報提供	情報提供率	判定不能者数	判定不能者率
男	1,249	146	11.7%	147	11.8%	956	76.5%	0	0.0%
女	3,316	98	3.0%	211	6.4%	3,007	90.7%	0	0.0%
計	4,565	244	5.3%	358	7.8%	3,963	86.8%	0	0.0%

メタボリックシンドローム判定および階層化（保健指導レベル）別では、毎年ほぼ同じ顧客を実施しているためか、目立った変動はない。